

ご使用の際は、コピーをして必要事項をご記入ください。

製品保証規定

保証期間：1年保証

- お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料でご故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
 - 1) ご購入履歴が確認できない場合。
 - 2) 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 3) 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
 - 4) 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - 5) お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 6) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他地震災、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 7) 寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 製品保証に関する記載も併せてご覧ください。

保証書

製品型番：	
ご購入日：	年 月 日 保証期間： 製品保証規定を参照
フリガナ
お客様名：	様
〒	
住所：	
電話番号：	- - E-mail：
販売店名、住所、電話番号（販売店印）	
（印）	

PRINCETON

株式会社プリンストン

URL：https://www.princeton.co.jp

製品保証に関して

- 万一、正常な使用状態において製品ご購入から2年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認した後、修理/製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関する所有権は弊社に帰属するものといたします。
- 修理/製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社はまたは弊社指定の保守会社により行わせていただきます。
- 保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外させていただきます。
- 本製品の故障また使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておりず、互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。
- 一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。
- 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。
 - お客様の故意または重大過失により生じた故障および損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - 取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
 - 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。
 - 設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
 - お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。
- 保証期間内であっても、次の場合は無償/有償問わず一切の保証はありません。
 - 窃られた場合。
 - 紛失した場合。

- お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体・記憶装置に記録されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止時間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社、契約または法律上は一切の責任を負いかねます。

- 弊社は、製品を運用・使用した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- 保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はおお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご送付の場面にご送付させていただきます。
- 動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より弊社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換させていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- 製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
- お客様の設定、接続等ミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。
- お客様の都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料および送料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

製品/お問い合わせに関して

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

Web からのお問い合わせ

URL　https://www.princeton.co.jp/support/contacts

株式会社プリンストン　テクニカルサポート

TEL　03-6670-6848　※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

使用上のご注意

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。定期的なバックアップを取るなどの対策を予め行ってください。誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

安全上のご注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要となすすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味

- ⚠ 注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）

- ⊘ 行為を禁止する記号（⊘の中や近くに禁止内容が描かれています。）

- ❗ 行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

⚠危険

- ⊘ 本製品はパソコンなどの一般的なOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

⚠警告

- ⊘ 次のような異常が発生したときはそのまま使用したり、パソコンに接続しないでください。「煙が出ていき、変な匂いがするなど異常があるとき」「内部に液体や金属物、異物が入ってしまったとき」「落下したり強い衝撃が加わったとき」「破損したとき」このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

- ⊘ 次のような使用しないでください。「本製品を分解、改造する」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台のそばなど油煙がたまる場所、浴室等、湿気の高い場所で使用する」「コネクターに異物を挿入する」「濡れた手で設置や操作をする」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

- ⊘ ケーブルを使用する際は下記のような使用はしないでください。「ケーブルに負荷をかけたり無理な力で巻く」「ケーブルのコネクターが正しく接続されていない状態で使用する」「ケーブルを接続したまま持ち運ぶ」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

⚠注意

- ⊘ 次のような場所に設置・放置しないでください。火災、感電、怪我の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気がある場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」

- ⊘ 次のような場所で使用しないでください。火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気がある場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」

- ❗ 下記の用法に従い正しくご使用ください。誤った使用は火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。

- お手入れの際は、接続されている機器を取り外してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
- 長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
- 本書記載の動作環境内でご使用ください。
- ケーブルは接続方向をよく確認の上、接続してください。
- 本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

使用上の健康と安全に関するご注意

- 長時間のご使用は身体への負担が大きく、場合によってはお身体に違和感（痛みや痺れ、筋肉異常など）が生じる可能性があります。お身体に違和感を感じる前に休息を確保してください。
- お身体に違和感を感じた場合、直ちに本製品の使用を中止してください。休息しても改善しない場合や使用後すぐに違和感を感じる場合、使用時以外でも違和感が続く場合は、長時間の製品使用を避けるなどとしてください。また必要に応じて医師にご相談ください。
- 使用中は本体が熱を持つ場合があり、長時間ふれたままにすると低温火傷の原因となる場合がございますのでご注意ください。異常な発熱を感じた際は、直ちに使用を中止して接続している機器から取り外してください。

内蔵リチウムポリマーバッテリーに関するご注意

- 消耗品ですので、保証の対象にはなりません。電池には寿命があります。使用状態によって異なりますが、十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。
- 長時間の充電はしないでください。充電後すぐに使用されない場合は、充電完了後に必ずUSBケーブルを抜いてください。
- 充電残量が無い状態で長期間経過すると、過放電によりバッテリーを痛め場合によっては再充電ができなくなる場合があります。充電残量が無くなる前に、充電を行うことをお勧めいたします。
- 高温環境での使用や保管はバッテリーの劣化を早めます。劣化したバッテリーに充電すると、バッテリーパックが膨張するなど大変危険です。充電しても動作しない、充電ができないうなど異常がみられた場合は使用を中止し、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。下記の機器などはBluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しており電波の干渉を発生する恐れがあります。

- 電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、発信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

良好な通信のために

- 他の機器とは、見通し距離の良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- 電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離れて通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しないときは、本製品をパソコンから取り外しておくことをおすすめします。他のBluetooth®機器からの接続要求に 대응するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波干渉について

● IEEE802.11b/g/nの無線LAN機器と本製品などのBluetooth®機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

- テレビ/ラジオなどはBluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth®製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth®製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

● 本製品が使用している電波は、通常の家庭で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信内容を傍受される可能性もありますので、ご注意ください。

キーボードに関するご注意

■ 本製品は英語 US ANSI 配列キーボードです

日本語 JIS 配列キーボードをお使いの場合、予め OS 側の設定変更が必要ですのでご使用前に必ずご確認ください。キーボードの配列設定変更については、「印字通りに正しく入力できない?（キーボードの配列設定）」をご覧ください。

■ LEDの色について

- キースイッチによってはLEDの光が軸に反射するため、少し色が異なることがあります。

■ 動作環境に関するご注意

- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。
- KVMスイッチ（CPU 切替機）やUSBハブを併用した環境での動作は保証しておりません。
- USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- USB3.0 ポートでのご使用は、BIOS の設定変更が必要な場合があります。
- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

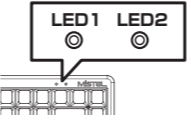
印字通りに正しく入力できない？（キーボードの配列設定）

現在使用しているキーボードやOSの設定によっては、本製品を接続してもキーの印字通りに入力できない場合がございます。（例：[Shift] + [8] を入力したら [*] では無く括弧が入力されるなど）下記を参考にキーボードの配列設定変更を行ってください。詳しい設定方法はご使用のOSのヘルプを参照してください。

例：Windows 11 の場合

1. Windows マークを右クリック→「設定」を表示して「時刻と言語」→「言語と地域」の順に選択します。
2. 「言語」の「日本語」の […] アイコンから「言語のオプション」を選択します。
3. キーボードの「キーボードレイアウト」から「レイアウトを変更する」を選択します。
4. 「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」で使用するキーボード配列を選択して「今すぐ再起動する」を押してPCを再起動します。

LEDの動作について

LED 1																
レイヤー／マクロ登録モードのステータスを表示または各種リセット動作を表示します。	<table><tbody><tr><td>LED色</td><td>キーボードの動作</td></tr><tr><td>消灯</td><td>初期レイヤー選択状態</td></tr><tr><td>赤</td><td>レイヤー 1 選択状態</td></tr><tr><td>緑</td><td>レイヤー 2 選択状態</td></tr><tr><td>青</td><td>レイヤー 3 選択状態</td></tr><tr><td>白：点灯</td><td>マクロ登録モード起動</td></tr><tr><td>白：点滅</td><td>マクロ登録中 / リセット中</td></tr></tbody></table>	LED色	キーボードの動作	消灯	初期レイヤー選択状態	赤	レイヤー 1 選択状態	緑	レイヤー 2 選択状態	青	レイヤー 3 選択状態	白：点灯	マクロ登録モード起動	白：点滅	マクロ登録中 / リセット中	
LED色	キーボードの動作															
消灯	初期レイヤー選択状態															
赤	レイヤー 1 選択状態															
緑	レイヤー 2 選択状態															
青	レイヤー 3 選択状態															
白：点灯	マクロ登録モード起動															
白：点滅	マクロ登録中 / リセット中															
本製品ではマクロ登録可能なレイヤーが3階層あります。本LEDは、現在のレイヤーが選択されているかを点灯色で表示します。その他リセット操作中に点灯/点滅します。																

LED 2

CapsLock のオン／オフ	無線 Bluetooth モード	CapsLock がオンになると 2 回点滅（赤色）→消灯します。USB 有線モード	CapsLock がオンになると点灯（赤色）します。
デバイスチャンネル変更時 ※	1 回点滅（青色）	点滅（青色）	します。
ペアリングスタンバイ中 ※	点滅（青色）	します。	
バッテリー表示 ※	残量少	約 3 秒間隔で瞬き点滅（赤色）	
	充電中	約 3 秒間隔で瞬き点滅（青色）	
	充電完了	点灯（青色）	

※ ML-MD770RBT-U シリーズのみ

PRINCETON	MISTEL
BAROCCO MD770 RGB ML-MD770R-U シリーズ	
BAROCCO MD770 RGB BT 5.0 ML-MD770RBT-U シリーズ	
ユーザズガイド	
お買い上げありがとうございます。ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">● ご使用前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。 ● 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。 ● 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。	
株式会社プリンストン <ul style="list-style-type: none">● 本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。 ● 本書の内容は予告なく変更されることがあります。 ● 本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。 ● 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。 ● 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。 ● 本書では ©"™ は明記しておりません。 ● 本機器の内容量またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。予めご了承ください。	2024年8月初版 <p>Copyright © 2024 Princeton Ltd.</p>

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

キーボード本体1
PC 接続用 USB ケーブル（USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長：約 1.8m）1
連結用 USB C ケーブル（USB-C ⇄ USB-C カールタイプ）1
Mistel キーブラー（キーキャップ取り外し工具）1
ギフトキーキャップセット1
ゴム足、取り付けネジ4

仕様

商品名	BAROCCO MD770 RGB BT	BAROCCO MD770 RGB
接続方法	有線 USB / 無線 Bluetooth 5.0	有線 USB
キー配列	英語 US 配列	
キー数	85 キー	
キーキャップ	グレースブルー色 PBT	黒色 PBT
キー印字	黄色ダブルショット	橙色ダブルショット
キースイッチ	Cherry MX	
バックライト	RGB	
ホットスワップ	×	
マクロ機能	○	
ポーリングレート※ 1	1,000Hz	
Nキー-ロールオーバー※ 1	○	
メディアキー	○	
電源	内蔵リチウムポリマー電池 USB パスパワー	—
連続使用可能時間	最大 35 時間	—
バッテリー充電時間	約 2.5 時間	—
本体サイズ	W320 x D140 x H28～34.5mm（左右一体時）	W320 x D140 x H28～34.5mm（左右一体時）
重量	約 860g（左右一体時）	約 810g（左右一体時）

※ 1：Bluetooth接続時はポーリングレートは125Hz、6キーロールオーバーになります。

対応 OS（2024年8月現在 ※）

Windows 11 / 10、macOS

※ macOSはSonomaにて動作確認済み。

※ OSのアップデートやハードウェアの仕様変更により対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

ファームウェアの更新について

最新のファームウェアは製造メーカーサイトにて公開しております。

ファームウェアダウンロードページ	URL https://mistelkeyboard.com/support
------------------	---

⚠注意　ファームウェアの更新はWindows PC のみ対応となります。macOS やその他 OS からの更新はできませんので予めご了承ください。

製品保証に関して

必ず[製品保証に関して]をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

困った時は？

製品のよくあるご質問について	URL https://faq.princeton.co.jp/
----------------	---

製品情報や対応情報について	URL https://www.princeton.co.jp/
---------------	---

テクニカルサポート

Web からのお問い合わせ	URL https://www.princeton.co.jp/support/contacts
---------------	---

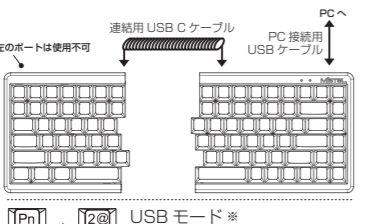
株式会社プリンストン　テクニカルサポート
TEL　03-6670-6848　※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

キーボードの準備（有線接続／USBモード）

■ 左右連結で使用する場合／USB接続で使用する場合

- 付属の連結用USB-Cケーブルで左右のキーボードを接続します。
- USB接続でパソコンと使用する場合は、付属のPC接続用USBケーブルのUSB-Cコネクタを右キーボード（親機）の右側のUSB-Cポートに接続し、USB-AコネクタをパソコンのUSBポートに接続してください。
- ML-MD770RBT-Uシリーズでは、[PN]キーと[2]キーを押してUSBモードを起動します。

キーボードの連結を解除する場合は、必ず左のキーボードから取り外します。



左右のキーボードが連結用USB-Cケーブルで接続されている場合、左キーボードにPC接続用USBケーブルを接続してもキーボードは使用できませんのでご注意ください。

左右個別に使用する場合

本製品は左右のキーボードを単体で 사용할 ことができます。左右個別で使用する場合は、PC接続用USBケーブルのUSB-CコネクタをキーボードのUSB-Cポートに接続してください。

- 右キーボードでは充電可能です。
- 左キーボードのみ使用する場合「無線機能」「マクロ登録」「バックライト調整」「DIPスイッチ」は使えません。

キーボードの準備（無線接続／Bluetoothモード）※

■ キーボードを充電する

※ML-MD770RBT-Uシリーズのみ

無線モードで使用する際は、PC接続用USBケーブルのUSB-Cコネクタを右キーボード右端のUSB-Cポートに接続して、USB-AコネクタをUSB給電機器（※）に接続してください。
※PCのUSBポートに接続時はUSBモードが優先されます。Bluetoothモードへの切り替えはできませんのでご注意ください。

完全充電まで：約2.5時間（※本製品は急速充電には対応しておりません。）

■ 機器の登録（ペアリング）

- 付属の連結用USB-Cケーブルで左右のキーボードを接続します。
- 右キーボード底面の電源スイッチをONにします。
- [PN]キーと[1]キーを押して無線/BTモードを起動します。
- 本製品は3つのデバイスチャンネルを使用して、3台の機器とペアリングすることが可能です。下記表の切替操作を長押し（3〜5秒）することでペアリングモードになります。ペアリングモード時はLED2がゆっくり点滅（青色）した状態になります。

デバイスチャンネル	切替操作（長押しでペアリング）
デバイス1（Mistel1）	[PN]キー＋[F1]キー
デバイス2（Mistel2）	[PN]キー＋[F2]キー
デバイス3（Mistel3）	[PN]キー＋[F3]キー

- LED2の点滅（青色）を確認したら、接続先のデバイスでBluetoothデバイスの検索を行い、手順4で選択したチャンネル（Mistel〜）を登録してください。

ペアリングが完了するとLED2が消灯します。

HINT	<ul style="list-style-type: none">途中パスコードが表示された場合は画面の指示に従って入力してください。正しくペアリングできない、ペアリング後の動作が不安定な場合は、一度デバイスを削除して再度機器の登録を行ってください。同じPCで異なるデバイスチャンネルをペアリングすることはできません。
-------------	--

■ ペアリング済みの機器で使用する場合（チャンネルの切り替え）

- 左右のキーボードを連結して右キーボード底面の電源スイッチをONにします。
- [PN]キー＋[1]キーを押して無線/BTモードを起動します。
- 前述「■機器の登録」の手順4の操作で使用するデバイスチャンネルを選択します。その際、キーは長押しする必要はありません。切替時はLED2が1回点滅（青色）して消灯します。（接続確立まで時間がかかる場合がございます）

■ 省電力機能／スリープモードについて

- バッテリー駆動時に無操作で10分程度経過するとバックライトが自動的に消灯します。
- 2分程度入力が無い場合省電力モードに移行します。省電力モードを解除する場合は右側キーボードのいずれかのキーを押してください。

[FN] [PN] キーについて

[FN] [PN] キーと特定のキーを同時に押すことで、メディアアプレーヤーの操作やキーボードの動作設定、レイヤー切り替えなどが可能です。

例：電卓を起動する→[FN]キー＋[Y]キーを同時に押す

[Fn]	[FN] キーを押しながら下記操作
[Q]キー	前のトラック
[W]キー	再生／一時停止
[E]キー	次のトラック
[S]キー	音量上げる
[D]キー	音量下げる
[F]キー	ミュート
[P]キー	[PrtSc]キーと同じ動作
[⌈（左大括弧）]キー	[Scroll Lock]キーと同じ動作
[⌋（右大括弧）]キー	[Pause]キーと同じ動作
[；（セミコロン）]キー	[Insert]キーと同じ動作
[H]キー	[Home]キーと同じ動作
[N]キー	[End]キーと同じ動作
[1]キー	[1]キーと同じ動作
[J]キー	[←]キーと同じ動作
[K]キー	[↓]キーと同じ動作
[L]キー	[→]キーと同じ動作
[Z]キー	[APP/Menu]キーと同じ動作
[Y]キー	電卓を起動

[Pn]	[PN] キーを押しながら下記操作
[`（シングルオート）]キー	キーボード配列変更
左 [Windows] キー	左[Windows]キーロック
[M]キー	初期レイヤー
[,（カンマ）]キー	レイヤー1
[.（ピリオド）]キー	レイヤー2
[/（スラッシュ）]キー	レイヤー3
[1]キー	無線/BTモード※
[2]キー	USBモード※
[F1]キー	デバイスチャンネル1（Mistel1）※
[F2]キー	デバイスチャンネル2（Mistel2）※
[F3]キー	デバイスチャンネル3（Mistel3）※

※ML-MD770RBT-Uシリーズのみ

DIP スイッチについて

△注意 DIPスイッチの操作は必ずキーボードの電源をオフにして、パソコンからケーブルを全て取り外した状態で行ってください。ケーブルやパソコンに接続したまま操作すると故障の原因になります。

本体底面にあるDIPスイッチでは、特定のキーの機能を変更することが可能です。スイッチを上（オン）にすることで機能が有効になります。DIP2〜4のスイッチは複数オンにして使用することが可能です。WindowsやMacなどご利用の環境に応じて設定を変更してください。

※工場出荷時は全てOFF（スイッチが下）状態。

例：DIP2と4がオンの場合

左[CTRL]キーが[CapsLock]キーとして機能し、[CapsLock]キーが[FN]キーと入れ替わります。

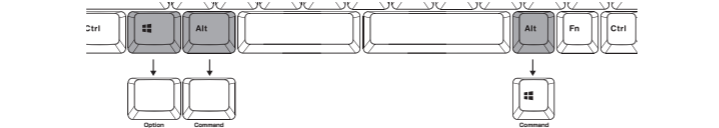
DIP No	DIPスイッチ OFF	DIPスイッチ ON
DIP1	macOSモード無効＝Windows用	macOSモード有効
DIP2	左 [CTRL] キー [CapsLock] キー	⇒ [CapsLock] キーとして機能 ⇒ 左 [CTRL] キーとして機能
DIP3	左 [ALT] キー	⇒ 左 [Windows] キーとして機能 ⇒ 左 [ALT] キーとして機能
DIP4	左 [CapsLock] キー [FN] キー	⇒ [FN] キーとして機能 ⇒ [CapsLock] キーとして機能

macOSモードの動作（DIP1がONの時のキー動作）

MacOSのキーボード配置を再現するためにキーの動作を変更したモードです。

● [Option] キー／ [Command] キー機能の追加

左 [Windows] キーと左 [ALT] キーが入れ替わり、[Option] キーと [Command] キーの機能が追加されます。



左 [Windows] キー (Command)	⇒	左 [ALT] (Option) キーと入れ替え
右 [ALT] キー	⇒	右 [Windows] (Command) キーに変更

● マルチメディアキー機能

キー	動作	キー	動作
F1	ディスプレイ輝度を下げる ^{*1}	F7	前のトラックへ ^{*4}
F2	ディスプレイ輝度を上げる ^{*1}	F8	トラックの再生／一時停止 ^{*4}
F3	Mission Control	F9	次のトラックへ ^{*4}
F4	LaunchPad ^{*2}	F10	ミュート（消音）
F5	本製品のRGBバックライト輝度を下げる ^{*3}	F11	音量を下げる
F6	本製品のRGBバックライト輝度を上げる ^{*3}	F12	音量を上げる

※1：ラップトップ/ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。
※2：Launchpadキーとして使用する際は、macOS側で設定が必要です。

－設定方法－

- アップルメニュー→「システム環境設定」→「キーボード」の順に選択します。
- 「キーボードショートカット」ボタンを押します。
- リストから「LaunchpadとDock」を選択します。
- 右側に表示されたリストの「Launchpadの表示」のチェックボックスをオンにし、右端のキーコンピネーション欄をクリックし、[F4]キーを押して設定してください。

※3：本製品のバックライトがオンの時に動作します。
※4：Apple Musicなどのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

キーのロック／配列変更

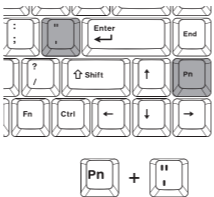
■ 左 [Windows] キーをロック／解除する

[PN]キー＋左 [Windows] キーを同時に押すと、左 [Windows] キーがロックされます。ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。

■ キーボード配列切り替え機能

[PN]キーと[`（シングルオート）] キーを同時に押す回数に応じて下記の通りキーの機能が切り替わります。

[QWERTY]（初期設定）
↓
[DVORAK]（xがqとして入力されます）
↓
[COLEMAK]（nがkとして入力されます）



[FN] / [PN] キーの位置を変更する（リマップ）

[FN] キー および [PN] キーを任意のキーに移動（リマップ）することができます。[FN] キー および [PN] キーのリマップ後は、元の [FN] キーは右 [Windows] キーとして、元の [PN] キーは [APP/Menu] キーとして動作します。

△注意

- 左 [Shift] キーと右 [CTRL] キーの位置にはリマップできません。
- [FN] [PN] キーは同じレイヤー内に1箇所設定可能です。
- [FN] キー や [PN] キーのリマップ先を忘れてしまった場合は、選択中のレイヤーをリセットして、再度リマップしてください。その際、選択中のレイヤーに登録されている全てのマクロ設定もリセットされますのでご注意ください。

マクロ機能／レイヤーの切り替えについて

マクロ機能とは、任意のキーに任意の動作（マクロ）を割り当てることができる機能です。

例：[H] キーに [Space] キーの機能を割り当て

→ [H] キーを押した時に [H] が入力されず「Space」キーとして動作します。

マクロ機能では、複数のキーに設定されたマクロセットを1レイヤーとしてグループ化でき、仕事やゲームなど用途に応じてキーボードの機能や配列を使い分けことができます。レイヤーは初期のキーボード配列（＝初期レイヤー）とは別に最大3レイヤー登録することができます。

△注意

- 初期レイヤーにはマクロ登録はできません。
- [FN] キーおよび [PN] キーへのマクロ登録はできません。また、[PN] キーと同時押しすることで動作する機能をマクロとして登録することはできません。

■ レイヤーの切り替え

下記のキー操作でマクロ登録するレイヤーを選択します。

選択レイヤー	切替操作	LED1の状態
初期レイヤー	[PN]キー＋[M]キー	消灯
レイヤー1	[PN]キー＋[.（カンマ）]キー	赤色点灯
レイヤー2	[PN]キー＋[/（ピリオド）]キー	緑色点灯
レイヤー3	[PN]キー＋[/（スラッシュ）]キー	青色点灯

■ マクロの登録手順

マクロを登録する前に **DIPスイッチ** を全てオフにしてください。（参照：DIPスイッチについて）途中30秒間キー操作が無い場合、マクロ登録前の状態に戻りますのでご注意ください。

1. マクロを登録するレイヤーを選択する

前述「レイヤーの切り替え」を参照してマクロを登録するレイヤー選択します。

2. マクロ登録モードを起動する

[FN] キー＋右 [CTRL] キーを押して離す→LED1が点灯（白色）してマクロ登録モードが起動します。この時バックライトが全点灯（緑色）します。

3. マクロを登録するキーを押します

→LED1が点滅（白色）し、マクロを登録するキーのバックライトが点灯（赤色）します。

4. マクロを登録します

登録したい（キー）を押して、最後に [PN] キーを押すとLED1が点灯（白色）して登録内容が保存されます。マクロが登録されているキーのバックライトも点灯（赤色）します。

例：[L] キーを押したときに [P] キーとして動作するマクロを登録する場合は、手順3で [L] キーを押して手順4で [P] キーを押します。

5. 手順3と手順4を繰り返し、その他のキーにも登録します。

6. マクロ登録モードを終了する

全ての登録が完了したら [FN] キー＋右 [CTRL] キーを押して離す→LED1とマクロを登録したキーのバックライトが消灯してマクロ登録モードが終了します。

■ 遅延間隔の設定

遅延間隔では、マクロ登録されたキーの入力間隔を設定することができます。設定は **手順4** で登録したい内容を入力する際、下記のキーを併用することで遅延間隔を設定します。

[FN] ＋ [T] →15ms 追加例：遅延間隔を1秒（0.5s×2）に設定する場合は、
[FN] ＋ [G] →0.1s 追加[FN] キーと [B] キーを2回入力します。
[FN] ＋ [B] →0.5s 追加

設定例

[N] キーを押した際に「[NO]と入力されるマクロで、「[N]と入力された後1.1秒後に「[O]が入力されるマクロを登録する場合

- 手順3で[N]キーを押して、手順4で[N]キーを押します。
- 遅延間隔を設定します。[FN]キーと[B]キーを同時に2回、[FN]キーと[G]キーを同時に1回押します。
- 続いて [O] キーを押します。

■ 登録済みのキーに別のマクロを登録する方法

手順3でマクロを変更したいキーを2回押します。

LED1が点滅（白色）したら手順4に進みマクロを登録してください。

■ 登録されているマクロを消去（元のキーに戻す）する方法

手順3でバックライトが点灯（赤色）しているマクロ登録済みのキーの中から、マクロを消去するキーを1回押すとマクロが消去されバックライトが消灯します。手順6の操作でマクロ登録モードが終了します。

リセット／工場出荷時の状態に戻す

△注意

- リセット操作の前に「DIPスイッチについて」を参照してDIPスイッチを全てオフにしてください。
- レイヤーを初期化すると、マクロ設定や [FN] / [PN] キーのリマップ設定、RGBバックライトの設定が全て工場出荷時の状態に戻ります。
- 工場出荷時の状態にリセットしてもペアリング情報は保持されます。

■ 選択中のレイヤーをリセットする（初期レイヤーと同じ配列にする）

- 「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、リセットするレイヤーを選択します。
- [FN] キーと [R] キーをLED1が5回点滅（白色）するまで、同時に長押しします。LEDが消灯したらリセット完了です。

■ 全てのレイヤーを工場出荷時の状態にする

左 [ALT] キーと右 [ALT] キーをLED1が5回点滅（白色）するまで、同時に長押しします。LEDが消灯したらリセット完了です。

リセット操作後は、本製品の電源をOFFにして接続しているケーブルを全て取り外し再度接続することをお勧めいたします。

RGBバックライトについて

△注意

無線使用時にバックライトを点灯するとバッテリーの消費が増しますのでご注意ください。

[PN] キーと [F5] キーを押す毎に、バックライトの発光パターンを下記表の点灯順に切り替えることができます。

■ 発光パターンの種類と順番

点灯順	発光パターン	カラー調整	スピード調整
1	全点灯モード	○	×
2	Breathing モード		
3	Cycling モード		
4	Wave モード（ML-MD770R-Uシリーズの初期設定）		
5	Rain drop モード		
6	Reactive モード		○
7	Ripple モード		
8	Rotating モード		
9	Snake モード		
10	WASD・矢印/カスタムカラーモード（後述）		×
11	無点灯（バックライトOFF/ML-MD770RBT-Uシリーズの初期設定）	－	－

■ バックライトの操作と設定変更

バックライトの操作と設定変更は [PN] キーと一部のキーを組み合わせて行います。

カラーパレット

[PN]キーと [ESC] キーを同時に押すとカラーパレット表示が表示されます。前述「発光パターンの種類と順番」の「カラー調整」欄が[○]のモードの配色調整時に使用します。

カラー調整

前述「発光パターンの種類と順番」の「カラー調整」欄が[○]のモードの配色調整時に使用します。下記記載の通りキーを1回押す毎にRGBの明るさが1段階明るくなります。（10段階）

- [PN]キーと[F6]キーを同時に押す＝カラー配色調節（R赤）
- [PN]キーと[F7]キーを同時に押す＝カラー配色調節（G緑）
- [PN]キーと[F8]キーを同時に押す＝カラー配色調節（B青）

輝度調整（消灯含む11段階）

- [PN]キーと[↓]キーを同時に押す毎に輝度が暗くなります。
- [PN]キーと[↑]キーを同時に押す毎に輝度が明るくなります。

速度調整（5段階）

- [PN]キーと[←]キーを同時に押す毎に変色速度が遅くなります。
- [PN]キーと[→]キーを同時に押す毎に変色速度が速くなります。

バックライトオフ（消灯）

[PN]キーと[0]キーを同時に押すと 前述「発光パターンの種類と順番」の「11・無点灯（バックライトOFF）」に切り替わります。

■ カスタムカラーについて

バックライトの配色を調整してレイヤー毎に割り当てたり保存することができます。ここで保存された配色は「10・WASD・矢印/カスタムカラーモード」で使用されます。カスタムカラーモードの初期点灯/パターンは、WASDと矢印キーが点灯した状態です。[PN]キーと[F10]キーを同時に押してカスタムカラーをショートカットで呼び出すことも可能です。（カスタムカラー発光モード）
カスタムカラーモード中に再度 [FN] キーと [F10] キーを同時押しすると、バックライトオフに切り替わります。

カスタムカラーの設定方法

△注意

カスタムカラーを設定する前に「DIPスイッチについて」を参照してDIPスイッチを全てオフにしてください。

- 「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、配色を変更したいレイヤーを選択します。
- [PN]キーと[F10]キーを同時に押してカスタムカラー発光モードを呼び出します。
- [PN]キーと[F9]キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを起動します。
- カラー調整には2つの方法があります。
 - 前述の「カラー調整」を参照して調整したい色（RGB）を選択する。
 - 前述の「カラーパレット」を参照して調整したい色（RGB）を選択する。
- 点灯調整したいキーを押すと**手順3**で選択した色が登録されます。キーを1回押すと選択された配色で点灯します。同じ配色で点灯させたいキーがある場合はそのまま点灯させたいキーを押してください。配色をやり直す場合は、再度キーを押して消灯状態にするか**手順3**の手順で再度色を選択した後、配色をやり直したいキーを押してください。
- 配色設定が完了したら [PN] キーと [F9] キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを終了します。カスタムカラー編集モードが終了したら自動的にカスタムカラー発光モードになり、配色設定に従ってバックライトが点灯します。